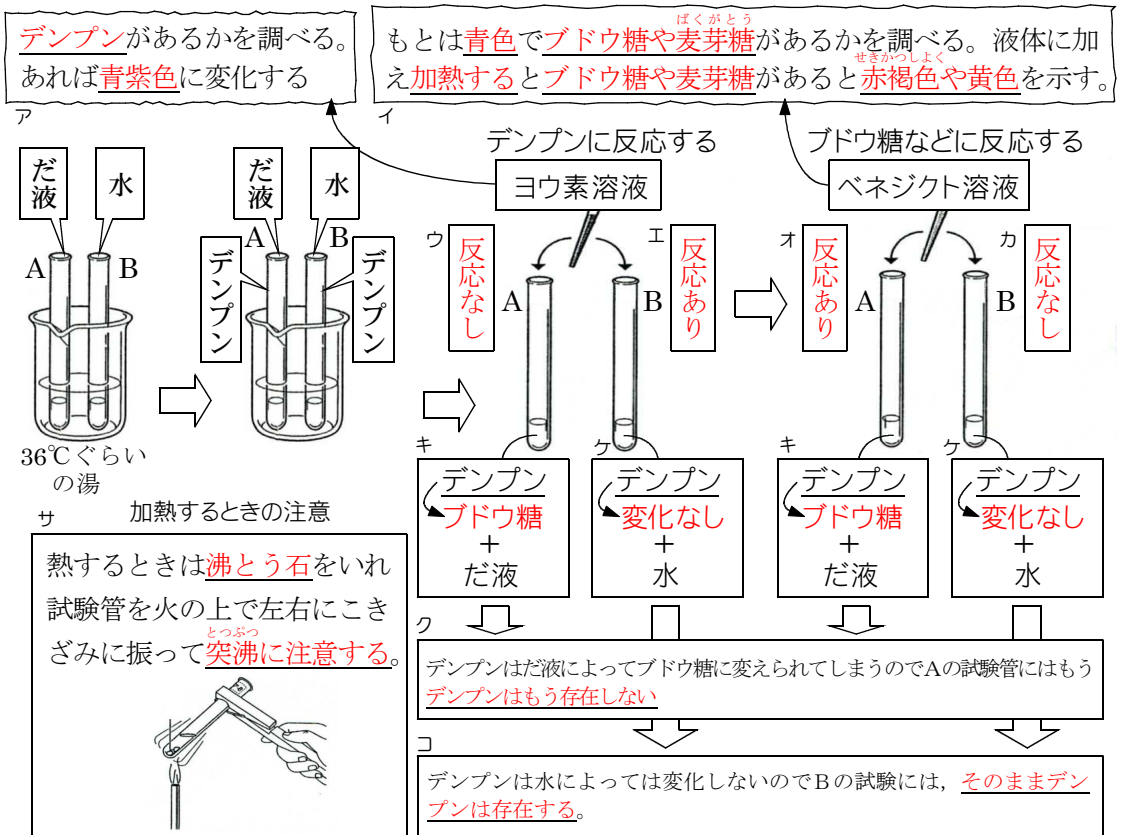


# だ液のはたらきを確かめる実験



試験管	ヨウ素溶液を加えた	ベネジクト溶液を加えて加熱
A だ液 + デンプン ↓ ブドウ糖に変えられる	ス 変化なし	セ 赤褐色や黄色を示す
	ス デンプンがなくなった だ液によりデンプンが分解されデンプンがなくなったから	セ ブドウ糖や麦芽糖あり だ液によりデンプンが分解され糖ができたから
B 水 + デンプン ↓ デンプンはそのまま存在する	タ 青紫色になった	チ 変化なし
	タ デンプンがある 水によりデンプンは分解されずデンプンのままだから	チ ブドウ糖や麦芽糖なし 水ではデンプンは分解されずデンプンのままだから

問題1 試験管を36℃ぐらいの湯の中に入れたのはなぜか。

消化酵素はそのぐらいの温度のときが最もはたらきがさかんだから。

問題2 だ液を入れた試験管と水を入れた試験管で実験するのはなぜか。

デンプンがだ液によって変化することを確かめるため。

問題3 問題2のような実験を何というか。----- 対照実験

問題4 結果からだ液にはどのようなはたらきがあることがわかるか。

デンプンをブドウ糖や麦芽糖に分解するはたらき。